

地域医療支援室だより

# ひまわり

地域医療支援病院



独立行政法人地域医療機能推進機構

宮崎江南病院

院長 白尾 一定

宮崎市大坪西1-2-1

TEL.0985-51-7575

FAX.0985-53-8821

vol 44

厚生労働省は、高齢者が人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要な支援体制「地域包括ケアシステム」を2025年までに整えることを目指しています。地域包括ケアシステムでは、保険者である市町村や都道府県が、地域の特性に応じた仕組みを作ることが求められています。

宮崎江南病院では、その仕組みの一つとして、生涯にわたって栄養、摂食・嚥下・運動状態を記録し、健康寿命を延ばせるように「わたしの健康栄養手帳」を作成し運用を開始しました。今後は、医療、介護、福祉など多くの機関が「わたしの健康栄養手帳」を活用していただくことで、患者さんを中心とした情報交換を行い、よりよい医療と安全の提供ができるることを目指してまいります。

今後ともご指導、ご支援をよろしくお願ひいたします。

平成27年10月吉日 宮崎江南老健 副施設長 吉田 祥子

## 理念

私たちは、医療人としての奉仕の精神と和の心を大切にし地域に信頼される病院として医療・介護・福祉に貢献します。

## キャッチフレーズ

安心な医療で地域の笑顔を支える宮崎江南病院

# 地域医療を支える

The region is supported



## かわはら整形外科 リハビリテーションクリニック

院長 河原 勝博

〒889-1607  
宮崎市清武町加納4丁目20番地  
TEL 0985-67-6070  
FAX 0985-67-6071



平成27年6月4日に宮崎市清武町加納の戸田整形外科跡に「かわはら整形外科リハビリテーションクリニック」を開業しました。診療としては一般的な整形外科治療に加え、スポーツ整形、理学療法士による運動器リハビリテーションになります。

出身は兵庫県尼崎市です。子供のころから運動することが好きで、小学校の時はソフトボール、中学時代からは大学卒業までソフトテニスをしていました。宮崎江南病院には大学時のソフトテニス部の先輩や後輩の先生が在籍されており、患者さんを紹介するときも安心してお願いさせていただいているです。

私が整形外科を目指したきっかけは中学生の頃に受傷した右足関節の捻挫後の不安定性でいわゆる癖の状態になりました。何度も再発を繰り返し、大学入学後に整形外科の先生に相談して2年生の時に韌帯の再建術を受けました。これまで20年以上の捻挫の再発はありません。この経験から整形外科、特にスポーツ整形ならびにリハビリテーションの大しさを痛感しました。卒業時、宮崎医科大学整形外科の田島教授（現名誉教授）がスポーツ整形をされていたこともあり整形外科医として宮崎で研修を行うことになりました。

卒業後9年間は宮崎県内を中心に一般整形、スポーツ整形、救急、麻酔などを経験

し整形外科専門医、リハビリテーション認定医、日本体育協会スポーツドクターなどの資格を取得しました。平成16年からは帖佐教授の元、大学病院でスポーツグループとして診療に携わりながら宮崎県の国体選手の帯同やメディカルチェック、県内の小中学校の運動器検診なども行ってきました。このような経験から予防やリハビリテーションが重要と考えるようになり、これらが身近に出来るのは開業して患者さんとの距離が近づけるのが一番の近道と考えて今日に至ります。実際、開業して3ヶ月になりますがその思いが現実になっていることを実感しています。

近年、平均寿命とは別に健康寿命が重要性であるとされています。健康寿命を延ばすためには足腰が十分機能することが大切で、これらの機能低下をロコモティブシンдро́мと呼ばれています。今後、このクリニックにおいて地域の皆様の治療やリハビリを行うことにより自立した生活を送れる方が増えていくようにしたいと思います。また、スポーツドクターとして小学生から大人までスポーツをよりよく楽しんでもらえるようにサポートをしたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



## 今回は 地域包括ケア病棟(4階東病棟) です。

地域包括ケア病棟が平成26年7月に新設され、1年が経過しました。地域包括ケア病棟は病床数20床、内科・外科・整形外科・形成外科から様々な患者さんを受け入れています。平均患者数は18名、在宅復帰率は95.5%を維持しています。看護師16名、看護補助員3名の計19名の職員で元気に働いています。

地域包括ケア病棟は、急性期治療を経過し病状が安定した患者さんに対して、在宅、社会復帰を目指し、リハビリを行う中でリハビリ状況の把握と精神的サポートを含めた看護ケアを提供しています。また、患者さんが安心して退院できるように退院前に医師や看護師、病棟専従のリハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーと共にカンファレンスを行いながら個々に合ったサービスの検討を行い退院支援、退院調整を行っています。

ベットコントロールを図るために毎週木曜日に医事課・薬剤師・リハビリ・他病棟の看護師長が集まり、転棟できる患者の選定を行い地域包括ケアの病床を有効に活用できるように検討しています。また、他院からの紹介患者さんについても検討し、受け入れる体制を整えています。病院の「地域の要望に応える地域医療連携を推進します」との理念を念頭におき、地域包括ケア病棟を中心としてより効果的な地域貢献が展開できるように努力していきたいと思います。

看護師長 鬼束 ひとみ



病棟カンファレンス



地域包括ケアプロジェクト

## 研修会のご案内

### Information

平成27年11月14日(土) 15:30開場 16:00開始  
宮崎県医師会館 2階 研修室

### 江南医療連携の会 特別講演会 「頭部画像診断の最前線」

宮崎大学医学部病態解析医学講座放射線医学分野  
教授 平井 俊範 先生

## 研修会報告

H 27.9.10 第97回 江南医療連携の会 症例検討会 参加者99名

H 27.9.24 退院調整委員会 研修会  
「退院調整における施設選び」 参加者77名

H 27.10.8 第98回 江南医療連携の会 症例検討会 参加者102名

H 27.10.22 第1回 江南リハビリテーションセミナー  
参加者33名

「移乗動作～利用者&介助者が安楽に行える  
ポイントとコツ～」



江南リハビリテーションセミナー



退院調整研修会

## 60周年記念祝賀会

60th anniversary commemoration celebration party

## 祝 宮崎江南病院 60周年

平成27年10月10日(土)に当院の60周年を祝って記念式典を開催いたしました。JCHO尾身茂理事長に「JCHOの目指す地域完結型医療の構築」と題して特別講演をしていただき、その後、ささやかながら祝賀会を開催いたしました。

沢山の関係機関の皆様方に参加して頂き本当にありがとうございました。地域の関係機関の皆様の支えあってこそこの宮崎江南病院だと実感した記念式典となりました。



尾身理事長 特別講演 「JCHOの目指す地域完結型医療の構築」



白尾院長 挨拶



祝賀会

# わたしの健康栄養手帳の活用について

宮崎江南病院では、地域包括ケアの一環として地域のみなさんの健康維持をお手伝いするために、「わたしの健康栄養手帳」を作成しました。内容としては、日頃の健康状態の変化をみていけるよう検査のデータや食事形態、身体評価などを記入できるようになっています。また、運動や口腔ケア、誤嚥性肺炎の予防などの必要性や簡単な訓練方法が記載されていますので、ぜひ日常生活から健康維持に关心を持っていただき、手帳の活用をしていただきたいと思います。

健康栄養手帳は江南病院より退院された患者さま、訪問看護ステーションを利用されている方、老健施設を利用された方に利用を開始しております。地域の先生方には、無理のない範囲で検査結果など記載をいただいて、この健康栄養手帳を活用していただければ幸いです。



食事内容・摂食・嚥下状態の変化			
日 時	年 月 日	年 月 日	年 月 日
主食（学年分類）	( )	( )	( )
副食（学年分類）	( )	( )	( )
水分	□少々 □多少 □普通 □多め □非常に多く	□少々 □多少 □普通 □多め □非常に多く	□少々 □多少 □普通 □多め □非常に多く
とろみ（学年分類）	( )	( )	( )
摂食中の嚥下	□正常な嚥下 □嚥下困難 □嚥下困難で「呞まない」	□正常な嚥下 □嚥下困難 □嚥下困難で「呞まない」	□正常な嚥下 □嚥下困難 □嚥下困難で「呴まない」
嚥下回数	□頻回 □少々 □普通 □少く □非常に少ない	□頻回 □少々 □普通 □少く □非常に少ない	□頻回 □少々 □普通 □少く □非常に少ない
自力摂取	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難
食事	□普通 □少々 □普通 □少く □普通	□普通 □少々 □普通 □少く □普通	□普通 □少々 □普通 □少く □普通
液体	□普通 □少々 □普通 □少く □普通	□普通 □少々 □普通 □少く □普通	□普通 □少々 □普通 □少く □普通
固体	□普通 □少々 □普通 □少く □普通	□普通 □少々 □普通 □少く □普通	□普通 □少々 □普通 □少く □普通
離乳食	□普通 □少々 □普通 □少く □普通	□普通 □少々 □普通 □少く □普通	□普通 □少々 □普通 □少く □普通
絶食	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難
調節	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難	□可能 □次第に □次第に困難 □困難 □非常に困難
栄養専門名	( )	( )	( )
田 食	□( )/日食・朝・夕 ( )	□( )/日食・朝・夕 ( )	□( )/日食・朝・夕 ( )
温熱水	□可 □不可	□可 □不可	□可 □不可
調節アリスク	□少々 □少く □普通 □少く □普通	□少々 □少く □普通 □少く □普通	□少々 □少く □普通 □少く □普通
誤嚥性肺炎の既往	□あり □なし	□あり □なし	□あり □なし
医療機関・施設名			

## 新任医師紹介

Newly-appointed doctor introduction

よろしく  
お願いします



吉川 大輔

整形外科医員

専門分野

整形外科一般  
外傷一般

## 出前講座「ひまわりの種」

当院の認定看護師が訪問して講座を致します。是非ご利用下さい。

### 【褥瘡予防編】

- 体位変換、体圧分散寝具の選択
- 褥瘡リスクアセスメントについて
- スキンケアについて

### 【褥瘡治療編】

- DESIGN-R について
- 創傷被覆材の使用について
- 褥瘡に使用する外用薬
- 出前講座ご利用方法

#### 出前講座ご利用方法

宮崎江南病院 地域医療連携室へ連絡

日時・内容・人数などについてご相談承ります

専門看護師による出前講座（訪問致します）

#### お問合せ（お申込み）

JCHO 宮崎江南病院  
地域医療連携室 長友  
直通電話 (0985) 52-4004  
直通FAX (0985) 51-1479  
E-mail renkei@miyazaki.jcho.go.jp

## ご意見・お問い合わせ

# 宮崎江南病院

宮崎市大坪西1-2-1 TEL.0985-51-7575 FAX.0985-53-8821

<http://miyazaki.jcho.go.jp/>

## 地域医療連携室

TEL.0985-52-4004 FAX.0985-51-1479 (地域医療連携室直通)

E-mail : renkei@miyazaki.jcho.go.jp

室長 白尾 一定 担当 佐藤 貴代